

# サンライズの風

発行  
サンライズ北二条団地町内会

編集  
逢坂信治

平成24年11月15日(木)

号外

## 号外

### 私たちの 団地 町内会 活動が

平成24年11月15日付け、北海道新聞・きたみ版に当町内会活動の記事がカラーで掲載されました。  
先日、大西副会長と当方は北海道新聞の取材を受け、サンライズ北二条団地町内会活動の当面の課題や夢について話しをしました。その新聞の記事を再掲して発行します。

道新. 11.24.11.15

## サンライズ北二条団地町内会 会報は新聞仕立て 内容充実、住民の結束目指す

# 北海道新聞に掲載

北見市中心部のサンライズ北二条団地町内会(長谷川智仁会長)は町内会報「サンライズの風」を発行した。新聞仕立ての珍しい体裁で、将来的な住民協働組織の発足に向け、町内会の風通しをさらに良くする狙いだ。



町内会報「サンライズの風」を編集した大西進副会長(左)と逢坂信治副会長

創刊号は11月1日付で、A3判のカラー印刷。団地内で10月下旬に取り組んだ大掃除の様子、町内会役員会の報告、集会所を子供たちに開放したイベント紹介を盛り込み、町内会の全51戸に配布した。北見市市民協働推進課は「これだけ内容が充実した町内会報は珍しい」と評価する。団地は建設から7年目と比較的新しく、近所付き合いもまだ盛んではない。編集した逢坂信治副会長は「あい

さつを交わして、顔見知りになる環境をつくるのが町内会の役目。『住みやすい』と思ってもらえれば」と発行の狙いを語る。季刊で発行する予定だ。現在市内で七つの住民協働組織が活動しているが、中心部は「空白地帯」。会報で町内会の結びつきを強め、将来的に組織設立までこぎつきたい考えだ。大西進副会長は「役員をしていても知っている顔は少ない。少しでも町内会員の輪が広がってほしい」と願っている。(相川康暁)